

事業所名

こども療育研究室Luluさくち2nd

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R7

年

3月

8日

法人（事業所）理念		こどもの発達に必要な学びと遊びを提供し、笑顔と可能性を想像できる地域に必要とされる療育施設を目指します					
支援方針		学校や家庭で「できること」が増え、地域・社会参加における適応行動につながるように、子ども達のライフステージを見据えた支援を行います。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
健康・生活	健康面：	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する児童が心身ともに健康で安全に生活できる環境を提供いたします。 ・感染症対策と衛生管理を徹底し様々な感染リスクへの対策を行います。 ・正しい手洗い・うがいなど指導～習慣化を促します。また、指導内容については視覚支援や音楽刺激を使用し楽しく学ぶことができるように工夫を行います。 ・バイタルチェック、保護者への健康状況を共有し体調の変化注意して日々の支援を行います。 ・事業所の清掃・換気・消毒を徹底し清潔な環境を提供いたします。 					
	生活面：	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自立した生活習慣を身につける為に、「あいさつ」「活動準備」「トイレ」「帰り支度」などを他のお友達と練習できる機会、および環境を提供いたします。 ・持ち物を自分で整理する習慣の確立（バッグの中の整理を支援し、自主性を促す）できるように支援を行います。 ・手洗い・うがい・顔を拭くなどの基本習慣（清潔保持に関わる）の定着を促します。 ・時間やスケジュールの理解を促します。（タイムスケジュールの視覚化・リマインダーの活用） ・集団活動時の役割を持たせ、自信を育む機会を提供いたします。（お手伝い係・掃除係などの役割を担当） 					
運動・感覚	運動面：	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスボールや平均台を活用した姿勢保持トレーニング、トランポリン・エアクッションを使った体幹トレーニング、ロープ渡りや片足立ちなど、バランス感覚を養う遊びの導入体幹・バランス能力の向上を促す機会をセラピスト支援の下、実施いたします。 ・ボール投げ・キャッチボールを通じて、手と目の協調動作を鍛える支援を行います。 ・運動が苦手な児童には個別の運動メニューを用意し、達成感を感じられる支援を行います ・鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッジボールなど、ルールのある遊びを提供いたします。 ・チームで協力するゲーム（フラフープくぐり、リレー競争）を取り入れ、社会性の発達も促していきます。 ・縄跳びやモルック等、学校で経験する遊びや運動の練習機会を提供いたします。 					
	感覚面：	<ul style="list-style-type: none"> ・感触遊び（スライム・小麦粉ねんど・水遊び）を通じた触覚刺激を促す支援を行います。 ・触られることに敏感な児童には、タッチケアや手指マッサージを実施いたします。また、毛布やクッションを活用し、心地よい触覚刺激を提供することで安心感を提供いたします。 ・ブランコ・ハンモックを活用した揺れの刺激、回転イスやトランポリンを使用した刺激を促すことでバランス感覚の成長を促します。 ・感覚過敏な児童に対しては個別指導およびイヤークапなどの補助具を使用などを行い活動や学習に集中して取り組むことができるように支援や助言を行います。 					

本人支援	認知・行動	<p>認知面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの視覚化や絵カード、ピクトグラムを使って「見て分かる」環境を提供いたします。 ・簡単な選択肢を用いた選択機会を提供し、意思決定を支援いたします。 ・短時間の課題に分割し、「5分でここまでやる」など、小さな目標を設定し達成感を感じられるような課題提供を行います。 ・視覚的なタイマーを活用し、時間感覚を育む支援を行います。 ・好きなキャラクターや物を使って認知活動を促進（電車が好きなら、路線図を使った数や文字の学習）、ICT機器（タブレット学習）を活用し、ゲーム感覚で学習する機会を提供する等、児童の興味に基づいた活動～課題提供を行います。 <p>行動面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次に何をするのか」を明確にすることやスケジュールボード、タイムタイマーを活用し行動の予測可能性を高める支援を行います。 ・静養室などを活動し、衝動性を抑えるための環境整備を行います。 ・達成しやすいスモールステップを積み重ねて成功体験をもとに行動の学習を促します。 ・褒めることやトークン（褒美）を提供することでポジティブな経験を積み重ねることができるよう支援を行います。 		
	言語 コミュニケーション	<p>言語面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズや音楽遊びの中で、新しい言語に触れる機会を提供いたします。 ・言葉の選び方を学ぶために、簡単なロールプレイを実施し適切な言葉の使い方を学ぶ機会を提供いたします。 ・身近な生活場面（買い物・公園・食事）を題材に、適切な言葉を学ぶ活動を導入し言語面の学習を促します。 ・今日の出来事などを発表する機会や文章化する活動を企画～実施することで言語理解を育みます。 <p>コミュニケーション面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身振り手振り、視線や指差しなど非言語的コミュニケーションの活用から意思表現の機会を増やすことを支援いたします。 ・簡単な選択肢を提示し、本人が「これ！」と示せる機会を増やす ・遊びやロールプレイの中で順番を意識させる支援を行います。 ・「怒ってる?」「悲しい?」など、相手の表情を読み取る練習を活動や遊びの中で考える機会を提供いたします。 		
	人間関係 社会性	<p>人間関係：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊ぶ時間を短時間から始め、少しずつ交流時間を延ばし他児との交流機会を増やすことができるように支援を行います。 ・隣で遊ぶ「並行遊び」から、少しずつ「協力遊び」に移行する支援を提供いたします。 ・人形劇や絵本を活用し、相手の気持ちを理解するトレーニング相手の気持ちを考える機会を提供いたします。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉を適切な場面で使えるよう支援いたします。 ・「貸して」「いいよ」「ちょっと待ってね」のやり取りを促し、他児童と仲良く遊ぶためのルールを学ぶ機会を提供いたします。 ・ルールのある遊び（椅子取りゲーム、じゃんけん）を通じて、ルールを守る経験を積むことができるように支援を行います。 <p>社会性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の習慣や人混みでの適切な行動、公共の場でのルールを絵カードで伝え、実際に体験する機会を提供し基本的なマナーを学習を促します。 ・「待つ」練習をゲーム感覚で行いながら衝動的な行動をコントロールできるように支援を行います。 ・お買い物ごっこや模擬体験を通じて、社会のルールを楽しく学び社会体験を増やす支援を行います。 ・高齢者施設との交流や、同法人事業所との交流の中で、異年齢・他の環境で過ごす人たちとの関わりを増やす為の活動を計画～実施いたします。 		
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのケア、療育のアドバイスをいたします。 ・困りごとに対する相談に乗り、必要があれば社会資源の利用について関係者間で検討を行います。 ・習い事を進めるなど、生活環境が拡大する為のアドバイスなどを行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がることで増える学習・集団生活の課題に備えるなど、学校生活への適応を支援いたします。 ・机に向かう習慣をつけることや学習支援の導入宿題、課題の取り組み方を支援いたします。 ・学校生活における不安点について、先生や友達との適切な関わり方を練習する機会を提供いたします。 ・学校、保護者様との定期的な面談を実施し、情報共有を図ることで就学・進学 の選択肢を保護者と一緒に考え、個別の対応策を検討いたします。また、放課後 等デイサービスでの様子を学校と共有し、合理的配慮の視点からアドバイス等 を行います。
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員と連携し必要に応じて地域資源の活用を助言～支援いたします。 ・公園や児童館を活用し、他の子どもたちと自然に関わる機会を提供いたします。 ・公民館や体育館、図書館など、公共施設の利用に慣れる機会を提供いたします。 ・障害理解・インクルーシブな環境づくりを検討していきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修会を実施し、職員の知識向上に努めていきます。 ・関係事業所間での研修を実施、児事業所以外での支援方法や思考内容について経験～検討する機会を構築していきます。
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの活動 ・お誕生日会 		